

淀川発見講座（大阪会場）

■日 時 平成23年6月4日（土） 9:30～17:00

■場 所 中央流域センター
大阪府枚方市桜町3-32
（京阪本線 枚方公園駅から徒歩約6分）

■受講者 49名

■プログラム・講師



科目	時間	講師（敬称略）
開講式	9:30～9:40（10分）	淀川河川事務所長の挨拶
淀川の魅力	9:40～10:40（1時間）	川上 聡（元淀川管内河川レンジャー 検討懇談会座長）
淀川の特性と治水・環境	10:50～11:50（1時間）	綾 史郎（大阪工業大学 工学部教授）
昼休み	11:50～12:50（1時間）	
淀川のなりたち	12:50～13:50（1時間）	八木 滋（大阪歴史博物館 学芸員）
淀川探訪（屋外歴史ウォーキング）	14:00～16:00（2時間）	大澤 研一（大阪歴史博物館 学芸員） 八木 滋（大阪歴史博物館 学芸員）
淀川と河川レンジャー	16:15～16:45（30分）	松岡 徹（淀川管内センター河川レンジャー）
閉講式	16:45～17:00（15分）	レンジャー養成講座の案内 河川レンジャー審査の説明 RACリーダーの説明

淀川の魅力

- （内容）
- 自然の魅力
 - 人文（歴史・文化）魅力
 - 新たな歴史・文化の創造



淀川の特性と治水・環境

- （内容）
- 淀川の主要な河川工事
 - 堤防強化と新しい形式の堤防
 - 淀川水系の貴重種・生息地の変遷



淀川のなりたち

- （内容）
- 淀川という名の起源
 - 古代から中世の淀川
 - 近世の治水
 - 淀川の人びととの生活（三十石舟・漁業）
 - 近世～近代の淀川



淀川探訪（屋外歴史ウォーキング）

淀川舟運と京街道の宿場町として栄え、今にその姿を残している枚方宿を巡り、いにしえの人と淀川との関わりを学ぶ。

【探訪ルート】

中央流域センター → ①郵便屋の渡し跡 → ②淀川舟運・枚方浜跡 →
→ ③枚方宿本陣跡 → ④淀川資料館 → ⑤御茶屋御殿跡 →
→ ⑥浄念寺 → ⑦鍵屋資料館 → ⑧明治十八年洪水碑 → 中央流域センター

①郵便屋の渡し跡



②淀川舟運・枚方浜跡



④淀川資料館



⑧明治十八年洪水碑



⑦鍵屋資料館



⑤御茶屋御殿跡



淀川と河川レンジャー

- （内容）
- 河川レンジャー誕生の背景
 - 河川レンジャーとは
 - 河川レンジャーの活動範囲・活動状況



淀川発見講座（京都会場）

■日 時 平成23年6月5日（日） 9:30～17:00

■場 所 上流域流域センター
京都市伏見区葎島金井戸町官有地
（京阪本線 中書島駅から徒歩約10分）

■受講者 22名

■プログラム・講師



科目	時間	講師（敬称略）
開講式	9:30～9:40（10分）	淀川河川事務所長の挨拶
淀川の魅力	9:40～10:40（1時間）	宮本 博司（元淀川河川事務所長）
淀川の特性と治水・環境	10:50～11:50（1時間）	綾 史郎（大阪工業大学 工学部教授）
昼休み	11:50～12:50（1時間）	
淀川のなりたち	12:50～13:50（1時間）	三木 善則（御香宮神社 宮司）
淀川探訪（屋外歴史ウォーキング）	14:00～16:00（2時間）	三木 善則（御香宮神社 宮司）
淀川と河川レンジャー	16:15～16:45（30分）	松岡 徹（淀川管内センター河川レンジャー）
閉講式	16:45～17:00（15分）	レンジャー養成講座の案内 河川レンジャー審査の説明 RACリーダーの説明

淀川の魅力

- （内容）
- 現場を知ることの大切さ
 - 淀川の現状と今後の整備のあり方
 - 水害に強い地域の形成



淀川の特性と治水・環境

- （内容）
- 淀川水系の貴重種・生息地の変遷
 - 生態系に対する衰退・危機の要因
 - 自然環境復元のための対策



淀川のなりたち

- （内容）
- 伏見という名の起源
 - 伏見港のなりたち
 - 江戸時代の舟運（三十石舟・十石舟）



淀川探訪（屋外歴史ウォーキング）

城下町として大小の船がにぎわい、京都の玄関口として栄えた伏見港。今にその姿を残している伏見宿を巡り、いにしえの人と淀川との関わりを学ぶ。

【探訪ルート】

- 上流域流域センター → ①伏見港公園 → ②角倉了以記念碑 →
→ ③松本酒造酒蔵 → ④京橋 → ⑤寺田屋 →
→ ⑥長建寺 → ⑦十石舟船着場（十石舟乗船） → 上流域流域センター



淀川と河川レンジャー

- （内容）
- 河川レンジャー誕生の背景
 - 河川レンジャーとは
 - 河川レンジャーの活動範囲・活動状況

